

製造現場向けヤード管理適正化

ヤード保管物に RFID タグ(またはバーコード)を貼り付けて、出庫対象物の位置特定と現品識別を容易化
出庫時間短縮と棚卸省力化を実現

お客さまの課題

- ・屋外のヤード保管業務において、広大な敷地に、同じような外観のワークが点在しており、誤ピックアップや作業リードタイム長期化といった作業品質上の問題が発生
- ・上記の為、現場は要員固定化でしか対処できず、事業拡大時など問題になることが予想された

データ価値化の流れ

データ収集

OT : ワークのロケーション (番地)

IT : ワークの識別番号 (入庫番号、オーダー番号、シリアル番号、品名等)

データ分析

- <現在> ①屋外のヤード毎に番地表示板を設置し各々防水 RFID(位置識別用)を貼り付け
②ヤードへの入庫時に現物に個体識別用 RFID を貼付
③入庫担当者は、個体識別用 RFID と位置識別用 RFID を同時に読み込み、個体位置をデータベースへ転送
④出庫時は個体識別用 RFID を読取してから、現品を搬出
⑤出庫記録から日報を自動作成
⑥棚卸時は個体識別用と位置識別用の RFID を読取り、現品を確認
- <今後> ・ヤードの番地毎の込み具合をデータ化し、その活用によりヤード敷地面積の縮小を目指す

データ価値創出

- ・ピックアップ時間の短縮
 - ・誤ピックアップの抑制
 - ・棚卸時間の短縮化
- 上記より、要員流動性が向上し人件費抑制、要員不足が原因での事業拡大の機会損失を排除を実現

本ユースケースを提供するソリューション・製品

- ・[ヤード保管適正化ソリューション](#) (株)日立ソリューションズ・クリエイト

導入実績のある業種

- ・製造業他